



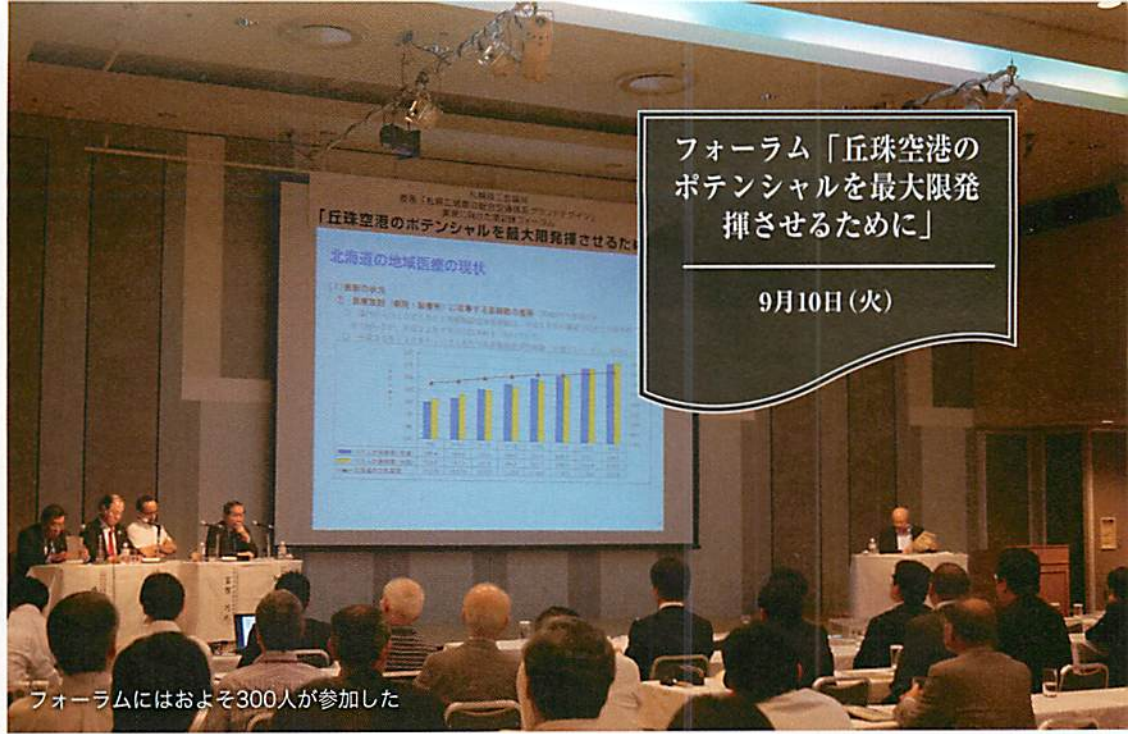
パネルディスカッションでコーディネーターを務めた北海道大学名誉教授佐藤馨一氏



基調講演をした札幌大谷大学平岡祥孝教授



主催者を代表してあいさつした星野尚夫都市問題・活性化委員長



フォーラム「丘珠空港のポテンシャルを最大限発揮させるために」
9月10日(火)

フォーラムにはおよそ300人が参加した



パネリスト(4名)左から、丘珠研究会代表世話人 加森公人氏、北海道総合研究調査会企画室長 富樫巧氏、北海道航空医療ネットワーク研究会副会長 目黒順一氏、勝木紀昭当所地域開発委員長

当所は丘珠空港の機能拡充をテーマに、フォーラム「丘珠空港のポテンシャルを最大限発揮させるために」を開催した。

第1部では、札幌大谷大学の平岡教授が基調講演し、丘珠空港の潜在的優位性について意見を述べるとともに、空港にとっての客である航空会社が利用したくなる魅力ある空港づくりの必要性を訴えた。

第2部では、コーディネーターに北海道大学佐藤名誉教授を迎えたパネルディスカッションを行った。冒頭に当所が昨年発表した提言書「札幌広域圏の総合交通体系グランドデザイン」について勝木委員長が説明し、丘珠空港の後背地を活用した防災拠点イメージについても述べた。加森氏は、丘珠空港よりも短い滑走路でジェット機の乗り入れをしているブラジルの空港の事例を紹介。富樫氏は、丘珠空港で広がるロシアや北東アジア地域との交流の可能性について意見を述べたほか、目黒氏はドクターヘリや「メディカルウィング」(ドクタージェット)などによる救急医療・へき地医療の拠点としての丘珠空港拡充の必要性について意見を述べた。

小金湯さくらの森
二美桜植樹会
9月11日(水)

現在造成が進んでいる「小金湯さくらの森」にて、二美桜植樹式を行った。この二美桜は小金湯地区で地域のシンボルとして愛される樹齢およそ80年の古木の接木。老化が進むこの桜を後世に受け継ごうと企画され、二美桜近くの豊滝小学校の児童と一緒に植樹を行った。



当所からは高荷明社会貢献推進特別委員長が参加した(左から4人目)



語学バッジ(全3種類)

接客向上へ
語学バッジ記者発表

9月13日(金)



記者発表する高向会頭

当所は外国人観光客への接客向上を目的とした語学バッジを作成し記者発表した。観光関連事業者を中心に普及を目指し、札幌観光協会と共同で取り組む。

記者発表で高向会頭は「7年後に開催が決まった東京オリンピックに向けて、札幌でも受け入れ態勢の改善を図っているというアピールをしたい」と述べた。

バッジにはサッポロスマイルのロゴマークを入れ、英語、中国語、韓国語の3種類を作成。語学レベルは自己申告制で、それぞれの現場で必要なメニューの説明ができることとしている。

詳細は 21 頁へ

東北グルメが大集合!
さっぽろオータムフェスト
「サツエキグルメLIVE」

9月13日(金) ~ 23日(月・祝)



オープニングセレモニーで
乾杯のあいさつをした高向会頭



札幌駅南口広場でオータムフェスト特別会場「サツエキグルメLIVE」を開催した。このイベントでは、平成28年の北海道新幹線新函館(仮称)駅の開業でつながる東北への関心を高めてもらおうと『新幹線延伸でつながる北海道と東北』をテーマに、東北各地の名物料理を集めた。